会議録（1）

会議の名称	令和6年度第1回飯能市児童福祉審議会
開催日時	令和6年6月28日（金） 開会　午後2時00分　　閉会　午後4時30分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館2階　会議室2・3
会長氏名	井上　久美子
出席委員	森田　明美　　永井　徹郎　　井上　久美子　安藤　幸雄 髙橋　このみ　小玉　育代　　清水　雅徳　　川西　輝明 北郷　倫代　　小林　愛子
欠席委員	
説明者の職氏名	飯能市長　新井　重治 こども支援部長　内沼　和彦 健康推進部長　　関根　浩司 こども支援部参事兼保育課長　佐野　敬子 健康推進部参事兼保健センター所長　生井　隆 こども支援課長　須田　あゆみ 相談支援担当　神立　浩美 手当・総務担当　末次　和宏 子育て総合センター　大野　祐美 保育課 総合調整担当　谷田部　ひとみ 保育施設・入所担当　山口　悟 富士見保育所　原　由美子 こども施設課長　井竹　信喜 整備推進担当　浅見　洋 保健センター 保健推進担当　川村　裕美子
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり

配 付 資 料	別紙のとおり
事務局職員 職　氏　名	こども支援課　課長　須田　あゆみ　主幹　神立　浩美 主幹　末次　和宏　主査　大野　祐美

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項
４　議　事
（１）飯能市こども計画の策定について
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。
（２）飯能市こども計画に関するアンケート調査結果報告書（要旨）について
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。
（３）飯能市こども計画骨子（案）について
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。
（４）子ども・子育て支援事業の進捗状況及び新規事業について
配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑応答を行った。

会議録（３）

発　言　者	発　言　内　容
【委嘱状の交付】	委嘱状交付後、事務局による趣旨説明を行った。
【職務代理選出】	井上会長より、職務代理に安藤委員が指名された。
事務局	本日の議題に入る前に、委員の出席状況を報告いたします。 委員定数 10 名に対し、全員の出席をいただいていますので、本日の審議会は成立いたします。また、本日の審議会は公開となっています。 議長は、条例の規定によりまして井上会長にお願いいたします。
議長	はじめに、現在、傍聴の希望がありませんが、議題について傍聴の希望がありましたら、入室を許可してよろしいでしょうか。 （「異議なし」）の声
議長	それでは、次第 4 の議題に入ります。 議題（1）飯能市こども計画の策定について事務局より説明をお願いいたします。
こども支援課 手当・総務担当主幹	資料 1、資料 1 参考（抜粋）に基づき、飯能市こども計画の策定について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。
委員	今期策定のこども計画は、いろいろな分野の計画を内包していて、今まで対象者として位置づけられてきたこどもたちが、権利の主体として位置づけられています。 昨年度実施した意識調査をどういう形で今回の計画に反映されるのか、もう少し説明いただくと、この計画の特徴が見えてくるかと思いますのでお願いします。
こども支援課長	こどもが支援されるべき対象というだけではなく、意見表明できる主体であるということを念頭に、5 年前とは違うプラスアルファの要素を入れないといけないと感じています。

	まず、アンケート調査を市内の全ての公立小・中学校で実施し、その上で小学校、中学校にそれぞれ２校ずつ学識経験者にファシリテーターになっていただき、対面でこどもたちの意見をヒアリングいたしました。また、高校生・大学生という、これまで計画では対象として意見を聞くことが難しかった世代にウェブ調査を実施しました。７月には飯能高校に赴いて生徒との対面ヒアリングを実施したいと思っています。また、パブリックコメントについて、こどもたちの世代にも参加できる形を研究していきたいと思っています。
委員	一般的なパブリックコメントは最終段階なので、できればこどもの夏休み時などに、こども・若者の意見や、政策を考えられるような機会を設定できたらいいかと思います。
議長	他に質問は、ございますでしょうか。 （質問なし） ご質問がないようですので、議題（1）を終了いたします。 続いて、議題（2）飯能市こども計画に関するアンケート調査結果報告書（要旨）について事務局より説明をお願いいたします。
こども支援課 手当・総務担当主幹	資料２に基づき、飯能市こども計画に関するアンケート調査結果報告書（要旨）について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。
委員	地域活動の参加状況の中で、文化活動の活動内容については、長い期間の間で変化がありますか。活動の担い手は大人がしていることを考えると、参加できる活動自体が減ってきているのではないかお伺いしたい。
こども支援課長	本市の特徴として、各地区でお囃子や獅子舞が大切に保存されていることが挙げられます。市内のお祭りでは、様々な披露の場もございます。 ＰＴＡ活動等については、役員の負担が大きいので、小・中学校でＰＴＡの再編や、役員の削減、活動の集約がされているところがあります。

	また、コロナが５類に移行した後、「食」を中心としたこどもの居場所やこども食堂を、子育てが終了した世代や、現役の親御さんが協力して地域で行う活動が増え始めています。 現在、本市ではそういった地域活動団体とのネットワーク会議を社会福祉協議会も交えて年３回実施しており、現在23団体が登録しています。
議長	他に質問は、ございますでしょうか。 （質問なし） ご質問がないようですので、議題（2）を終了いたします。 続いて、議題（3）飯能市こども計画骨子（案）について事務局より説明をお願いいたします。
こども支援課 手当・総務担当主幹	資料３に基づき、飯能市こども計画骨子（案）について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。 （質問なし） ご質問がないようですので、議題（3）を終了いたします。 続いて、議題（4）子ども・子育て支援事業の進捗状況及び新規事業について事務局より説明をお願いいたします。
保育課保育施設・ 入所担当主幹	資料4-1に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。
委員	令和６年度の年度当初の実績が出ていると思いますが、待機児童はどうだったのですか。
保育課保育施設・ 入所担当主幹	令和６年度においても待機児童はゼロとなっています。

議長	他に質問は、ございますでしょうか。 （質問なし） ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。 それでは、引き続き、資料 4-2 について、事務局より説明をお願いいたします。
こども支援課 手当・総務担当主幹	資料 4-2 に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。
委員	令和 5 年度実績と量の見込みで乖離があるところの説明をお願いします。 延長保育の実績が 123 人に対して量の見込みが 376 人だが、実績が半分もないことの理由と、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業（要保護児童等の支援に資する事業）の量の見込みについて 105 に対して 145 と件数が増えたことについて、妊婦健康診査事業について、見込みが 4,971 人に対して実績が 8,109 人となっていることの説明をお願いします。
保育課保育施設・ 入所担当主幹	延長保育について、推測されるのは量の見込みがコロナ禍前に設定した数値なので、令和 5 年度についてはコロナ禍の影響がまだ及んだのではないかと考えられます。
こども支援課 相談支援担当主幹	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業（要保護児童等の支援に資する事業）の量の見込みについては、5 年前の推計であり、コロナ禍における閉塞感のある生活から家庭内での大人の諍いを目撃したことによる心理的虐待が増加しています。 そのようなことから、要保護児童対策地域協議会での進行管理が必要な家庭が増えたと考えられます。
健康推進部参事兼 保健センター所長	11 の妊婦健康診査事業の計画値の回数は、妊婦の数に検査の回数を乗じたものになっています。計画当初の見込数は、妊婦一般健康診査のみの件数で示しておりました。令和 5 年度の実績数は、妊婦一般健康診査にその他の検査を加えた延べ受診人数の数が 8,109 人となっています。次回の計画については、この 8,109 人のベースに

	近い人数になっていくと思います。
委員	子育て短期支援事業で、受け入れ施設が限られている関係で、依頼を断られることはありますか。
こども支援課 相談支援担当主幹	県内の児童養護施設の受入れを中心にお願いをしています。 受け入れができる施設が県内に少なく、近隣の児童養護施設と協議をしながら、緊急度などの優先順位等を考え対応しています。
議長	他に質問は、ございますでしょうか。 （質問なし） ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。 それでは、引き続き、子ども・子育て支援事業の進捗状況の資料4-3 についてと、子ども・子育て支援事業の新規事業の資料 5 について、事務局より説明をお願いいたします。
こども支援課 手当・総務担当主幹 保健センター 保健推進担当主査	資料 4-3、資料 5 に基づき、子ども・子育て支援事業の進捗状況及び新規事業について説明を行った。
議長	説明は以上です。委員の皆様からご質問やご意見はございますか。
委員	ファミリー・サポート・センターについて、会員の育成支援が大事だと言われています。飯能市における研修や講座などの実施状況を教えてください。
こども支援課長	ファミリー・サポート・センターのアドバイザースタッフ、子育て総合センターのスタッフ及び、地域子育て支援拠点のスタッフが、毎月連携会議を実施しています。また、毎年、講習会を開催し提供会員の質の担保に努めています。県でも提供会員定着のための補助メニューがありますので、来年度に向けての検討をしています。
委員	ひとり親家庭の自立支援については、どのように取り組まれていますか。

こども支援課長	毎年 8 月の児童扶養手当現況届をすると様々な課題が出てきます。本市の対象者はおよそ 480 世帯であり、その中には要支援家庭の方もいるので、面談には担当ケースワーカーも入るようにしています。個々の困りごとに対して具体的な支援を進めています。
委員	資料 4-3 の 2 ページのひとり親家庭への経済的支援について、DV で別居しているが離婚はまだしていないというようなご家庭にはどう対応しているのですか。
こども支援課長	3 ページの下に養育費に関する公正証書等作成促進補助金があります。これは離婚を検討している人たちが家庭裁判所と相談をしている段階で、必要な公正証書の作成のための補助金が充てられるという制度です。 この制度の支出実績は 3 件ですが、申請に至るまでの過程にある相談の時点からケースワーカーが相談を受け支援を進めています。
委員	資料 5 で県の高校訪問事業で、各高校とあるが、公立高校、私立高校を問わずなのですか。
こども支援課長	高校訪問については、公立、私立を問わず行っています。
議長	他に質問は、ございますでしょうか。 （質問なし）
議長	ご質問がないようですので、よろしいでしょうか。 それでは、議題（4）を終了いたします。 予定していた議題は以上ですので、これにて、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。 事務局にお返しします。

議事のてん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和　　年　　月　　日

議長の署名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿